

トリニダード・トバゴ月間情勢報告

(2024年2月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

2月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 内政

- (1日、2日報道) 国内全域の大気中に高濃度のサハラダスト (アフリカ大陸のサハラ砂漠からの風成鉱物ダスト) が確認され、トリニダード・トバゴ気象局 (TTMS) は国民に健康被害に関する警告を発令。
- (4日報道) 1月に国内で確認された殺人事件は43件。前年同月の殺人事件件数は61件であり、約30%減となった。
- (8日、9日、12日、17日、29日報道) トバゴ島南部沖合で転覆した船舶から油膜が流出。ベネズエラ及びグレナダの海域にも侵入し、TT政府は「国家非常事態」を宣言。流出油の回収作業が進められている。なお、同事故による油の流出量や船舶の所有者、目的地などは不明。

2 経済

- (3日報道) 西インド諸島大学 (UWI) 食糧農学部と国連食糧農業機関 (FAO) は、水産資源の効果的なガバナンス、管理及び長期的な発展を目的とするプロジェクトを発足。同プロジェクトは地球環境ファシリティ (GEF) から170万米ドルの資金提供を受け、TT、ガイアナ及びスリナムで今後4年間かけて実施される見込み。
- (9日報道) カナダの石油・ガス会社 Touchstone Exploration 社は、カスカドゥーラ第2油田で天然ガスを発見したと発表。今後の生産に向けケーシングを設置中。
- (14日報道) カナダのメタノール生産会社 Methanex 社のサムナー社長兼最高経営責任者は、アトラス・メタノール工場 (年産能力108.5万トン) の閉鎖及びタイタン・メタノール工場 (年産能力87.5万トン) の稼働開始が予定されている2024年9月には、TTにおける同社のメタノール生産量は年間最低100万トン減少する見込みと発表。
- (19日政府発表) ローリー首相はガイアナ主催のエネルギー会合とサプライチェーン・エキスポに出席。同首相はスピーチにて、石油・ガス部門に関する専門知識やインフラの共有を通じて、地域の炭化水素資源開発において近隣諸国と協力することへの意気込みを示すと同時に、TTにおける太陽光発電事業な

どを通したエネルギー多様化への取り組みに言及。

- （21日、28日報道）石油化学製品の世界的な価格急落により、世界第2位のアンモニア輸出国であるTT産の2月のアンモニア価格は前月比15%減となった。
- （23日報道）b p トリニダード・トバゴ社（b p TT）は、同社の3番目の海中開発であるサイプリ（C y p r e）ガス田において掘削が予定されている7つの坑井の内、1つ目の坑井の掘削が開始されたと発表。ガスの初出荷は2025年の予定。

3 外交

- （8日報道）米運輸保安庁（T S A）はTT空港公団（A A T T）に4台の爆発物検知装置（総額20万米ドル）を寄贈。